

年 組 名前:

# やまなし 竜の物語

今年のえとは竜。山梨県内各地には竜にまつわる言い伝えがあり、水と結びついたストーリーが多い。「竜の物語」を紹介する。

## 民衆助けた「竜王水」



「竜王」の地名の由来になった言い伝えが残る慈照寺。法堂前には「龍王水」と刻まれた石碑が設置されている—甲斐市竜王

### 甲斐・慈照寺

甲斐市竜王の慈照寺（大森一樹住職）の境内には「竜王水」と呼ばれる湧き水がある。約500年前に湧き出したと伝えられていて、この竜王水が竜王という地名の由来になったといわれている。

慈照寺は1489年に開創。真翁宗見禪師が開山し、山門や法堂などは真指定文化財になっている。

寺の言い伝えでは、15世紀末ごろ、釜無川に「竜王潭」と呼ばれる淵があり、悪竜がすみついていて、悪竜が暴れて住民は水害などに悩まされていた。

その話を聞いた真翁宗見禪師がある日、竜王潭に行き悪竜の口の中に護符を投げ込んだところ、悪竜は改心し、その後に人間の姿で

真翁宗見禪師の前に現れ、これまでの罪を償うことを誓った。寺周辺が水資源に乏しいことを伝えると、寺の境内から水が湧き出したという。

付近の住人たちは湧き水を生活用水などとして利用し、「竜王水」と呼んで親しむようになった。やがて周辺一体の村が竜王と呼ばれるようになったと言われている。現在、慈照寺の法堂前には「龍王水」と刻まれた石碑が設置されている。

大森住職は「新型コロナウイルス禍はいまだに収まらず、海外では戦争が起きている国もある。寺に伝わる言い伝えのように、空想上の生き物が暴れているのかもしれない」と話。辰年の2024年は「人々が平和に暮らせる穏やかな一年になることを望みたい」との願いを語った。

（藤井駿伍）

(2024年1月1日付 山梨日日新聞19面)

問1 「竜王」という地名の由来になったといわれている「竜王水」と呼ばれる湧き水は、  
なんというお寺の境内にありますか。

問2 次の文章の①から⑧に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『寺の言い伝えでは、①世紀末ごろ、②に「竜王潭」と呼ばれる淵があり、悪竜がすみつき暴れ、住民は③などに悩まされた。その話を聞いた真翁宗見禪師が、竜王潭に行き悪竜の④に⑤を投げ込み、悪竜を改心させた。その後人間で禪師の前に現れ、これまでの⑥ことを誓い、寺周辺が⑦に乏しいことを伝えると、寺の境内から水が湧き出したという。』

- ①..... ②..... ③..... ④.....  
 ⑤..... ⑥..... ⑦..... ⑧.....